

病院を受診された患者さまへ

第2版

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	2型糖尿病でセマグルチド注射剤を使用している患者における併用経口血糖降下薬の違いによる体重減量効果・血糖改善効果の評価
当院の研究責任者 (所属)	益崎 裕章 (医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座)
研究機関	琉球大学大学院医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座 (琉球大学病院第二内科) (研究責任者名：益崎裕章)
既存情報の提供を行う 機関	海邦病院 (担当者：2023年3月までは上原盛幸、4月以降は中山良朗) 島尻キンザー前クリニック (担当者：上原盛幸)
本研究の目的	糖尿病の治療に用いる注射薬である Glucagon-like peptide-1(GLP-1)受容体作動薬の中でも、「セマグルチド注射剤」を使用している患者に併用する経口血糖降下薬や薬剤変更による体重減量効果の違いを評価する。
研究実施期間	研究機関の長の許可日～2026年3月31日
調査データ(該当期間)	2020年12月～2022年1月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	<p>●対象となる患者さま 以下の選択基準を満たし、かつ、除外基準に該当しない方を対象とします。</p> <p><選択基準></p> <p>①2022年1月以前に琉球大学病院、海邦病院、島尻キンザー前クリニック で定期通院中の2型糖尿病の症例</p> <p>②セマグルチド注射剤の使用歴がある</p> <p>③体重データによる評価が可能</p> <p>④20歳以上95歳未満</p> <p><除外基準></p> <p>①透析患者</p> <p>②薬剤治療でもコントロール不良の精神疾患患者</p> <p>③末期がんや消化器疾患等で明らかな食思不振を認める患者</p> <p>④研究責任者が不適切と判断した者</p> <p>●利用する情報 基本情報：生年月、性別、内服薬、診断名 身体計測：身長、体重、BMI、血圧、脈拍数 血液検査：随時血糖値、HbA1c、T-Chol、TG、HDL-C、LDL-C、T-bil、AST、ALT、γGTP、LDH、ALP、Cre、eGFR</p>

<p>試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法</p>	<p>既存情報の提供を行う機関から研究機関への情報の提供は、パスワードをかけた USB で行う。</p>
<p>試料・情報の二次利用</p>	<p>本研究で取得した情報は、別の新たな研究に利用する可能性がある。その場合は再度、倫理委員会へ申請し研究機関の長の許可を得る</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>研究において対象者の情報を扱う際は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化する。既存情報の提供を行う機関から情報を得る際も匿名化された状態で授受する。論文作成時、学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いない。また、同意の範囲外において情報の利用を行わない。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究において開示すべき利益相反関係にある企業等はない。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>電話：098-895-3331 PHS：4273 担当者：上原盛幸 (琉球大学病院 第二内科(医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座))</p>
<p>備考</p>	